

令和5年
(2023年)
1月

ゆりー

米原区の人口及び世帯数
令和4年12月末現在
戸数 1,112世帯
人口 2,689人
男 1,324人 女 1,365人

謹賀新年

あけましておめでとうございます。干支がトラからウサギに変わりましたが、依然としてコロナというカタカナが世間を席卷しています。今年こそはマスクと消毒液から解放され、区民の皆様が健康で安全な日々を送れるよう、そして、笑顔いっぱいの一年になりますようお祈りいたします。Have a happy new year!

令和5年元旦



区の行事予定

- 1月**
 8日(日) GGゴルフ・スポレク大会
 10日(火) ミニ・デイサービス 千尋会定例会同時開催
 *ザ・リッツでの筋力測定
 *コロナの状況を見て判断
- 2月**
 7日(火) ミニ・デイサービス
 10日(金) 千尋会定例会
 10日(金) 審議委員会
 *コロナの状況を見て判断

新春グラウンドゴルフ・スポーツレク大会

日時：令和5年1月8日(日) 午前9時集合
場所：どんぐりフレンドパーク
競技種目：グラウンドゴルフ・スカットボール・バッコ

* お手伝いできる方は当日、8時に公民館に集合して下さい。



今月の徴収金

区費	1,000
防犯灯負担金	150
合計	1,150円

ありがとうございます

- 3班の福地心一様(浄福寺)より、飲み物・お菓子の寄贈がございました。
- 1班の友利晃青様より、お菓子の寄贈がございました。
- 2班のチャーチ様より、ご芳志がございました。
- 2班の板良敷明美様のご家族様より、ご芳志がございました。

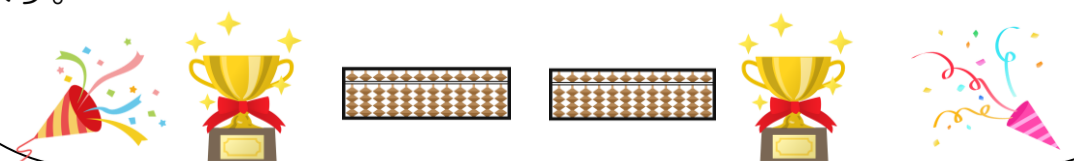
フラボー! 嘉陽 築(きずく)さん

昨年11月、長崎県平戸市で開催された第41回全九州珠算選手権大会で、読上げ算と団体の部で優勝という快挙を達成し、凱旋した高校2年生の嘉陽築さん(区4班)。親に勧められ6歳の時にソロバンの楽しさに目覚めたという。それ以来、基本的に平日2時間ほど、土日は平均7時間もの長時間ソロバンの玉をはじいてきた。



ソロバンをやることのメリットを聞くと、「忍耐力がつき、物事をする上で集中力が持続できる」ととても優しい声が返ってきた。得意な科目は「数学」で苦手は「国語」だという築さんにソロバンをやめようと思ったことがあるかと問うと、「何度もやめようと思ったことがある」と意外な回答。「結果が出ない、思い通りに成績が伸びない」時が止めたくなる時だと云う。今回、読上げ算で優勝した時は、「素直にホッとした」という言葉からは安ど感が伝わってきた。

最高位10段の築さんに、今後どのような人生コースを描いているかを聞いてみた。「大学では医療関係に進み、将来は医者を目指している」と力強く答えてくれた。頑張り、築さん、皆で応援しています。



☺ どうーちゅいむにー

新しい景色が見たかった
古い景色も見直してみよう
——温故知新(論語)——
サッカー侍ジャパン殿

バンナム級4団体制覇
コブシがかなり効いていました
——演歌歌手——
モンスター井上殿

Wカップアルゼンチン優勝
メッシ奉公が大きかった
——国民——
リオネル・メッシ殿

E M について

去年の12月のEM活性液は、区長の体調不良により準備できず、必要としている方々にご迷惑をおかけしました。1月からはこれまでどおり、毎月の5日頃までには新しいEMを提供できるよう段取りしますので、区民の皆様、どしどし活用して下さい。



米原区に光を、もっと光を

区内には、米原区が維持管理する防犯灯 103 基とうるま市が管理する防犯灯が約 20 基あり、これらは夜間の安心・安全な通行の確保に大きく寄与しています。しかし、時おり、寿命が切れて任務遂行ができなくなっている防犯灯があります。球切れしているだけで、決してやる気を失っているわけではありません。そのような防犯灯を見つけた場合、公民館へ連絡して下さい。なるべく早く職務へ復帰させます。



張り出した枝、伐ったほうがえーだ!

近年、車や自転車で道路を走行中、または、人が歩道を歩行中、住宅の塀から道路に張り出した木の枝などが支障となり、通行を妨げられたり事故に巻き込まれそうになったなどの苦情が役所に多く寄せられるようです。

転ばぬ先の杖、事故られる前の自己防衛、もしこのような危ない状況があるのなら、その危険を除去してみませんか? チョットした気づきと思いやりが、住みやすい米原を作り出すと思いますヨ。

～へー、そうだったのか! (パート55)～
—地上のウサギは何をつく?—

トラからタスキを譲り受けた今年の干支、私、ウサギが新年のご挨拶を申し上げます。年が明け、気分も新たに2023年がスタートしたところですが、来たる年が皆様にとって希望に満ちた年になりますよう祈っています。



さて、去年はトラ年。年が明け間もない2月、ロシアがウクライナに理不尽な軍事侵攻を開始し、世界中の、特にウクライナの人々を恐怖のどん底に陥れた。「苛政は虎よりも猛し」と昨年の「ゆりー」1月号にあったが、ことわざを地で行くように、一人の為政者がトラよりも恐ろしいとんでもない蛮行に及んだ。残念なことに、この状況は今なお続いている。早期解決を祈って、身近な話題に切り替えることとしよう。

昨年は、442年ぶりに皆既月食と天王星食が同時に見られた。月で一所懸命に餅をついていた仲間のウサギも、

身近で起こった壮大な天体ショーに大いに驚き興奮し、脱兎のごとくあちこち跳ね回ったようだ。次に同じ現象がみられるのはなんと322年後の2344年で、その時は土星が月に食われてしまうらしい。気の遠くなるような年月だが、その時までせいぜい元気に餅をつき続けておくことにしよう。

ところで、ピョンピョン跳ね回る我われウサギは、その気になれば時速60～80kmで走れる脚力をもっていることを知っていました? 人間で最速のウサイン・ボルトが全盛期に時速約46kmだから、同時にヨーイドンすると途中で私が昼寝でもしない限り、ウサイン・ボルトに勝ち目はないのである。彼の専売特許である弓を引くようなポーズを私の長い耳でこしらえると、彼も随分と悔しがるかもしれないな。



ここでクイズです。ウサギの数え方を答えてください。答えは「一羽、2

羽」。獣を口にするのが禁じられていた昔、ウサギを無理やり鳥に見立てることで食べることができたということに由来するようだが、諸説ある中の一つだから、今では「1匹、2匹」でもOKらしい。

さて、西洋では、幸運のシンボルとしてウサギの足やシッポは珍重されるが、「二兎を追う者は一兎をも得ず」というのがあり、欲張って同時に二つのことをやろうとすると、結局、二つとも失ってしまうことを云う。

しかし、「二島を追う者一島をも得ず」と、長年続いている繊細な北方領土問題に置き換えてみると、むしろ、「四島を追う者が四島を得る」と読み替えたいところである。

さてさて、ウサギについてウツサギー書いてきたが、結局、テーマを置き去りにした形の地上のウサギ、餅の代わりにため息をちちうさぎやびーがやー?

～へー、そうだったんだー～

十二月の三役の審議事項 (十二月十五日(木)開催)

一、一月の行事について、次の通り審議・決定しました。

二、新春グラウンドゴルフ大会について
 ・どんぐり公園で開催する。マスクを着用し、手指の消毒等コロナ対策をしっかりとした上で、計画通り一月八日(日)に開催する。(詳細は、上段のお知らせをご覧ください。)

三、餅つき大会について

・マラソンへの参加者は、小学生が主で年配者の参加が見込まれないことから、スカットボール、バグジーに変更する。これらのゲームは、毎月のミニ・デイサービズで慣れ親しんでいるので、子どもからお年寄りまで楽しく遊べるゲームである。

・コロナ感染のリスクがまだあることから、餅つきは行わないこととする。

【雨天の場合、一週間延期し一月十五日に実施するが、その日も荒天の場合、更に延期とはせず中止とする。】